

大阪の展望が見えてきた

大阪府医療審議会で「住吉市民病院の廃止反対」
ひろがる反対の声!
公立病院で現地建て替えを

くらしと経済を
ハantanナせる
「都構想」



「都構想」は、くらしを切り捨ててムダな大型開発を「一人の指揮官」（府知事）ですすめる体制づくりです。橋下市長は、住民投票で否決された「都構想」に再挑戦すると言い、「都構想の試金石」としてきたカジノを断固すめると宣言しています。失敗してきた巨大開発推進を繰り返そうとしています。

カジノ「絶対に必要」

橋下市長 重ねて意欲

大阪市議会委

大阪市議会の決算特別委員会が16日開かれ、人工島・夢洲（天保山）（IR）の誘致につ

「都構想」の口実にされてきたのが「二重行政」。ムダな「二重行政」があれば解消するのは当然です。しかし、大阪市をなくしてまで解消すべきムダな「三重行政」はありません。「維新」が問題にする病院や大学、図書館などは住民にとって大切なものは国、府、市で二重、三重に充実させる」とこそ大事です。

いのちや福祉、教育を守る施設や施設は二重、三重にやるべきです



医師会長も地域振興会長も「地域医療を守るの民間では無理」と発言。住之江区医師会の松嶋会長は「『維新政治』では地域医療は守れません」と厳しく批判しています。

広がる「維新政治ノー」の共同
大阪市立幼稚園廃止・民営化案を否決

10月9日、橋下市長が提案した市立幼稚園廃止・民営化案を「維新」以外の自民、公明、共産、民主系会派で否決しました。この間の保護者や地域の粘り強い共同の運動によって願いが実現しています。



「維新政治」と一線を画す!
「反維新」8市で進む願いの実現



話し合いかがすすむ!
くらし関連予算も増えた

2013年9月の堺市長選以降、岸和田、貝塚、豊中、泉南、吹田、寝屋川、八尾の8つの市で「反維新市政」が誕生しています。これらの市では、「国民健康保険料の大幅引き下げ」「子ども医療費助成の拡充」「お出かけ応援バスの拡大」などくらしを守る施策がすすめられています。国保料連続値上げや公立病院つぶしをすすめる「維新」政策と大違いです。

国への立場の違いをこえて、「維新政治ノー」でまともな府政・大阪市政をとりもどしましよう。

自民と共産で「野合」?

義を壊してきました。

「維新」は「自民と共産が理念や考え方も違うのについてよこやるのは野合」と批判しています。

この8年間、「維新」は「選挙に勝てば何でもできる」と、今までの政治になかった独裁的な手法で、医療や福祉、教育を切り捨て、民主主

「維新」は「過去に戻すか、前にすすめるか」と言っています。しかし、それは事実と道理に合いません。橋下市長のいう「過去」とは、旧WTCビルやりんくうゲートタワー、ビル、「職員厚遇」問題など何十年も前の話です。
住民投票の時、野党共同でつくった「公報」でも、かつてのムダな公共事業を「政策の失敗」と認めています。
住民の世論と運動でそんな無茶な時代に戻ることはありえません。いま必要なのは「正常に戻す」こと。「維新」による不毛な対立と分断、くらしと民主主義、こわしの「過去に戻る」ことは「メンです。

よくするための支援は当然

義を壊してきました。

まともな大阪府政・市政を取り戻すため、住民と政党が立場の違いをこえてみんなで力を合わせるのは当然です。逆に「維新」こそ離合集散のくり返し。その「野合」ぶりが問われます。

